

洞教推第206号

洞爺湖町教育行政審議会

次に掲げる事項について、別添理由を添えて諮問します。

洞爺湖町立学校における特色ある学校づくりと教育環境の向上に関する総合的な方策について

令和5年11月17日

洞爺湖町教育委員会

(理由)

洞爺湖町における児童生徒数は、平成18年の町村合併の翌年度は児童数479名、生徒数481名でしたが、令和5年度は児童数254名（約47.0%減）、生徒数151名（約68.6%減）と、わずか16年間で大きく減少しています。

この間、「洞爺湖町内小中学校の適正配置計画（平成26年12月）」を踏まえ、生徒にとってのよりよい教育環境と学びの充実に資するとして、平成28年4月に洞爺湖温泉中学校と虻田中学校を統合しましたが、その後も児童生徒数の減少は続いており、洞爺湖町における学校教育の在り方に大きな影響を及ぼすことが予想されます。

当町では、このような状況に鑑み、学校教育法第21条の規定に基づく義務教育の目標に迫るべく、小・中9年間の系統性・連続性に配慮した小中一貫教育制度の早期の導入を目指しております。

次に、小中学校の校舎や社会教育を含めた教育関連施設については、その多くが昭和40年代後半に建築され老朽化が進んでおり更新時期を迎えています。

一方で、当町における教育関連施設については、有珠山噴火や津波といった自然災害時における避難施設としての活用、加えて、さらなる人口減少や少子高齢化を見据えた公共施設のコンパクト化やスリム化への転換、厳しい町の財政状況等も視野に入れていく必要があります。

これらの理由により、洞爺湖町立学校における特色ある学校づくりと教育環境の向上に関する総合的な方策について諮問を行うものであります。

なお、ご審議に当たっては、「第2期洞爺湖町まちづくり総合計画（平成29年3月）」及び「第2次洞爺湖町の教育目標と教育ビジョン（令和5年3月一部改定）」「洞爺湖町教育大綱（令和5年3月）」との整合性にご配慮いただきますようお願いいたします。